

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 5 年 4 月 2 5 日 (火) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分		
会 場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 6 名	市職員 3 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり )		<input type="checkbox"/> なし
報告・検討 の内容	1 自己紹介		
	2 部会長、副部会長の選出		
	3 前回の振り返り		
	4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	5 その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	1 自己紹介 ・ 4 月より異動、入職した職員の自己紹介 2 部会長、副部会長の選出 ・ 部会長は興梠様が立候補し、副部会長は興梠様の推薦で椎葉さまに決まる。		

### 3 前回の振り返り

- ・平澤先生に伺った「にも包括」のポイントについて、日進市では精神障害に特化した事業所がゆったり工房さんの1か所のみのため取り組むことが難しいこと、精神の方だけでなく間口を広げて考えること、国の考えだけでうまく地域とかみ合っていないことから、現状に即してにも包括を作っていく必要があること、を振り返った。

### 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて ○冊子を作る案について意見交換を行う。

- ・あじさいの会講演会企画で3名がリカバリーストーリーを報告し、10分弱の原稿だったが会場では「当事者の生の声」が好評で皆さんに届きやすかった。定期的にこのような生の声を届けられたらいいのではないかな。
- ・当事者の体験を載せていくと興味をもってもらいやすい。
- ・「地域包括支援とはなんぞや」の図を載せた冊子を作れば形に残り、会場に足を運んでいただかなくても人に届く。地域の方に伝わるよう、冊子に当事者の生の声（様々な障害）と「1.地域住民への理解促進・普及啓発」「2.家族支援」「5.ピアサポートの活用」「7.医療連携体制」を載せられたらいいのではないかな。
- ・医療の方のご意見を伺うために時間を設けたり、サポートブックや認知症のケアパスのような分かりやすいものが全国的にあるか調べる必要がある。
- ・冊子の内容は生活に置き換えてイメージしやすいものが良く、まだ医療に繋がっていない家族は流れがイメージしやすく医療に繋がりがやすいもの、冊子が厚くなりそうなのでQRコードでリンクを社協や市役所のHPにとばして見てもらうのもいいのではないかな。
- ・一般の方が手に取りやすいタイトルがいいのではないかな。
- ・冊子作りにおいて、当事者の方にも参加してもらえるとよい。
- ・マンガやイラストが入ると分かりやすいし、事業所に所属する当事者の方でイラストが得意な方に書いてもらえたら、より意義があるのではないかな。  
→A3見開きの「合理的配慮とは」がイメージとして良さそう。  
(ゴーリーくん：じゃんぐるじむ岡田さん)
- ・障害についてよく知らない方のイメージを載せるのもいいかもしれない。

### 5 その他

#### ○今年度のケアマネ部会の検討内容について

- ・冊子に注力する
- ・保健所とつながり冊子の意見を伺ったらどうか
- ・他部会の進捗が分からないため、奇数月のケアマネ部会の時に

	<p>各部会の報告を行うのはどうか。</p> <p>○今年度の部会の開催予定について（頻度等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催で行う。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局側から皆さんにメールを送り、冊子に何を入れたら面白いかな、ご意見を返信していただく。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
今回確認事項	① 部会長、副部会長の選出
	② 前回の振り返り
	③ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	④ 今年度のケアマネ部会の検討内容について
	⑤ 今年度の部会の開催予定について（頻度等）
次回検討課題	① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	冊子の中身の内容を共有し、具体的にまとめる
次回開催日時	令和5年5月23日（火） 午後1時30分
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第1回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年4月25日（火）13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	
② 脇本 浩行 (欠)	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊 (欠)	
⑧ 福田 有輝	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿 (欠)	④ 大橋 志乃

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第2回	ケアマネジメント部会	
日時	令和5年5月30日（火）13時30分～15時10分		
会場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 6名	市職員 4名	事務局 3名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り（名：別添名簿のとおり）		なし
報告・検討の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他：ヘルパーネットの登録について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月より異動、入職した職員の自己紹介</li> <li>・部会長、副部会長の選出</li> <li>・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、冊子を作る案が出る</li> </ul> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>○冊子を作る案について意見交換を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしの障害者差別解消法宣言！」の冊子に肉付けをするイメージで、「認知症応援ガイド」と中間のものを作りたい。</li> <li>・見開きに、日進市の精神科病院や福祉サービス事業所等の社会資源を示した地図を取り入れ、吹き出しで当事者の意見を載せる。病院や福祉サービスの説明、気になるポイントを載せることで、当事者の疑問や不安を減らせると良い。</li> </ul>		

- ・精神障害に対してまだまだ地域の偏見は多いため、冊子を読むことで、精神障害や、にも包括について理解が進み、「精神障害のある方も、周りの協力があれば地域で暮らしていただけること、福祉サービスだけでは補えない部分もあるため、地域の役割として皆さんの支援が必要であること、精神障害の方が暮らしやすいということは、他の方も暮らしやすい市になるということ」が伝わる内容にしたい。
- ・にも包括の図をあえて市民に分かるように示さないといけなことを思うと、市民の役割だけを示した方が分かりやすいのではないか。
- ・「自分はもしかして精神疾患なのかな」と思う方が冊子を見て分かる内容のものなら、地域の方も分かるのではないか。専門用語をあまり使わない工夫が必要。
- ・スマホを扱えない方には厳しいが、より詳細を見たい方にはQRコードで各ページに飛べるようにし、当事者やご家族には、にも包括の冊子が困った時の導きになるもの、地域の方には、にも包括とはどういうものなのか、日進市独自のものは何なのか伝わる内容にしたい。一家に一冊置けるような気軽に読める物がいい。
- ・リカバリーストーリーを載せる案については、不特定多数の方が読み、反応が分からないことから、当事者にとっては怖さや不安を感じるという意見が出た。生の声として、当事者やご家族に、どんな情報が欲しかったか、サービスを利用してどうだったか等の思いを聞き、「自分でもお仕事ができた」「友達ができた」「一人暮らしができるかも」という良かったことや、こういう所で困ってしまう等の共感できるポイントを冊子に反映させていくことならできる。
- ・内容として、サービスの利用の仕方、病院、薬、症状、精神疾患と脳の関係、遺伝ではなく治療をすると治ってくる、嫌な状況はずっと続いていかない、精神の薬は怖いものではなく、治療のために必要なもの等を載せられるといいのではないか。
- ・病院にアンケートを送ると返事がくるため、聞き方次第で病院と繋がれるのではないか。
- ・「わたしの障害者差別解消法宣言！」ではゴーリー君やデザインにインパクトがあり、見やすい。4コマ漫画は難しいが、「困っている・泣いてる」等の表情の絵を入れると、分かりやすく、手に取りやすいのではないか。
- ・内容が深刻だと、読む方は分からないだけにどんどん不安になってしまう恐れがある。読む方が不安にならないように、自分が今どの段階にいて、この先どのような流れを踏んでいくのが分かり、必ずしも障害者としてこの先進むわけではなく、明

るいノリで気軽に読めるものがないのではないか。

- ・NPO 法人、ピアサポ活動、自治体の方、民生委員で障害について動いている方にご協力いただけると良い。おおよそのデザインが出来てから、当事者やご家族、医療機関の方に参加していただく日があってもいい。
- ・そもそも何故「にも包括」が始まったのか、時代背景の説明や、PSW から MHSW に名称が変わった流れの説明を入れても良いのではないか。
- ・作る冊数の参考として、「わたしの障害者差別解消法宣言！」を令和 3 年に作った時には、講演会や事業所に配り、初版では足りなくなったため、翌年 1000 部作って、民生委員さんや公共施設に配った。
- ・構成について、「わたしの障害者差別解消法宣言！」の時は、市役所内にワーキンググループを作り、載せる内容や文について話し合った。レイアウト、色味や字体等はじゃんぐるじむさんに依頼したため、今回もじゃんぐるじむさんに依頼し、文はケアマネ部会で作ったらいのではないか。
- ・冊子ができたら、広報誌ハピナビで紹介してもらえると、多くの方に知ってもらえる。また、学生に配布するのも一つの手。
- ・参考：富山県が発行している、精神障害普及啓発冊子「ココロのトリセツ」
- ・次回、冊子に入れたい内容の箇条書きやラフ画を持ち寄り、情報共有と意見交換をしたい。
- ・地域福祉課は 5/31 の精神保健福祉業務連絡会にて、保健所の方と会うため、にも包括について話す予定。

### 3 その他

#### ○ヘルピーネットの登録について

- ・登録をすることで、電子連絡帳として情報共有が可能になる。ケアマネ部会でも取り入れ、効率化をはかる。

#### ○他部会の進捗について

- ・本日、各部会の報告を行う予定ではあったが、報告者が欠席のため、次回、報告をする。

以上

今回確認事項

① 前回の振り返り

② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて

	③ ヘルピーネットの登録について
次回検討課題	① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	冊子に入れたい内容を箇条書きで持ち寄り、共有する
	② 各部会の報告をする
次回開催日時	令和5年6月27日（火） 午後1時30分
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第2回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年5月30日（火）13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊 (欠)	
⑧ 福田 有輝 (欠)	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿	④ 大橋 志乃

(事務局)

① 市川 英子 (欠)	② 日岡 由季枝 (欠)
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第3回	ケアマネジメント部会	
日時	令和5年6月27日(火) 13時30分 ~ 15時05分		
会場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 7名	市職員 4名	事務局 5名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 3名 : 別添名簿のとおり ) ・ なし		
報告・検討の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 : 各部会の報告		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、冊子の中身について、意見交換を行う。</li> <li>案の箇条書きやラフ画を持ち寄り、情報共有をする。</li> </ul> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>○冊子を作る案について意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>案を持ち寄っていただいた4名に、補足説明をしていただく</li> <li>冊子は誰を対象に作成していくか。</li> <li>コロナのように、誰もが精神障害になる可能性があるから、日進市民10万人が対象でも良いと思う。</li> <li>家族が読んで、ハッと気づくものが良いのではないか。ターゲットを絞った方が、内容が伝わると思う。</li> <li>全市民でもいいが、身の回りや家族のことを思うと、当事者目線になるようなものにして、それが全市民に配られても問題は</li> </ul>		

ないと思う。「自分の子だけじゃないんだな」と共感できるようにターゲットは家族にして、困っている家族に届いたら良いのではないか。

- ・市役所の窓口には、本人よりも家族（母）がみえることが多い。窓口にみえた際に渡せるものがあるといい。
- ・家族向けの冊子を作る方向にする。
- ・表題に「精神障害」とバンとくると皆が引くかもしれない。何か良い案はないか。
- ・「精神障害」の印象を柔らかくして「日進（にっしん）のメンタルヘルス／ケアシステム」。
- ・今時はネットで分かるから、地元情報を載せる方が、家族の安心に繋がると思う。そこを強調する表題も良いのではないか。
- ・「メンタルヘルス」という言葉は、皆が食いつきやすいのかな、と思う。
- ・「心は大丈夫かな」の振り返りができるもの、「ずっと薬を飲んでないといけないの？」という不安もあるから、リカバリーの視点も入れられたら良いのではないか。
- ・手に取りやすい表題が良い。「わたしの障害者差別解消法宣言！」では、法律名が入ることで何の冊子か分かりやすく、「わたし」と入ることで、自分事のように感じるができる。「認知症応援ガイド」では、「知る、備える」によって、「これを読めば安心できるかも」という印象を与えることができている。このように、抵抗なく手に取ることができ、そこに「日進」を入れられたら良い。
- ・「精神障害」よりも、「心の不調」と言われるほうが、ひょっとしてと思う人にはダメージが少ないのではないか。例えば、「心が不調になったときのサポートブック」。
- ・「サポートブック」という言葉は、何か教えてくれるのかも、と思わせてくれる。
- ・ベースに「精神的に不安定」「心がしんどい」「心に波がある」というワードがあると、手に取りやすいかもしれない。カタカナが多いと、少し分かりづらい。
- ・「日進で暮らしたい」など、目的を表題に入れてもいいかもしれない。
- ・メンタルヘルスの別の言い方として、「心の健康」「心の耳」。
- ・「メンタルヘルス」は軽い人の印象があり、鬱の少し手前や、まだ予防できそうな段階に感じるため、「精神障害」の言い換えではない気がする。
- ・タイトルやサブタイトルで、「アレッ、いつもと違う」と変化に気づくきっかけになる言葉があると良い。「なかなか疲れがとれないのは心の不調かも」等。

- ・「心に元気がない」と気づかない人もいるから、サブタイトルに前兆を入れて、「人に会いたくないな」「最近、うまくいかないな」「なかなか寝れなくなってきちゃった」などを羅列で載せるのも良い。
- ・タイトルについて、皆さんに考えてもらって、メールで送ってもらうことにする。

○掲載したい内容を付箋に書き込み、共有する。

〈にも包括〉

- ・「にも包括」って何?! どういう仕組み? なぜ必要なの?
- ・なぜ「精神障害」にもなのか?
- ・地域包括ケアシステムって何ですか?
- ・日進のイメージ図 (国はこうだけど、日進はどうだろう?)
- ・どんな町にしたい? 日進市の思いを載せる。

〈日進の社会資源〉

- ・ピアサポート
- ・障害福祉サービス、フォーマル、インフォーマル、知りたい情報。
- ・精神保健、ボランティア
- ・にしんの福祉やヘルプマークの紹介。

〈精神障害の理解〉

- ・精神障害、疾患の説明、特徴、症例、服薬などについて。
- ・疾患の段階、～の時はよく寝ること、～になったらそろそろ受診を、～はすぐに受診を!!
- ・発症前と発症後の違いは?
- ・心の不調は適切に対応されないと、負の連鎖が生じることがある (心の不調⇔生活課題⇔経済的影響 / うつ⇔起きられない⇔仕事に行けなくなり収入が無くなる)。

〈偏見の解消〉

- ・精神障害の方が加害者になったようなニュースがあるが、ほとんどの方は平和に暮らしていることを知ってもらう。
- ・心が不調になるのは恥ずかしいことではない、また、誰もがなりうるものであるため、すべての住民のメンタルヘルスに関わる。隠したりする必要はなく、遠慮せずに助けを求めてよいことを伝えたい!
- ・心の病が身近に感じるように、「〇人に一人が心の病になる」。
- ・精神の不調は脳内の乱れ、自分の努力不足ではない。

〈医療機関〉

- ・病院はどこに行けばいい？
- ・カウンセリングが受けられる機関（病院）。
- ・心理検査が受けられる機関（病院）。
- ・カウンセリングを受けることについて、ハードルが下がるようなメッセージを載せる（ケガした時に病院に行くのと同じ。スポーツ選手もメンタルケアを受けている等）。
- ・医療機関の情報、市内クリニック、近隣の病床がある病院。
- ・受診のタイミング、治療の内容、流れ。
- ・専門家として、ドクターからのアドバイス。
- ・保健所

〈当事者の声〉

- ・受診のきっかけを知ること、読み手が「自分もそうかも？」と思い、医療に繋がると良い。
- ・当事者が思っていることや願っていることは何？
- ・リカバリーストーリーは必要！ある程度は加工して、ご本人に負担がないようにすること。
- ・～して良かった！～が大変だった。

〈当事者への対応〉

- ・当事者との接し方。今までと同じように接するのか、声の掛け方やトーン、心がけた方がいいこと、傾聴の仕方。
- ・接し方→目を合わせて話す、ゆっくり話す。
- ・パニックに陥った時の対処法→本人の気持ちを聞く、本人の意向にできるだけ寄り添う。
- ・精神障害の方が周りに分かっておいてほしいこと。
- ・周りの人ができること（家族、地域、それぞれで）。
- ・こんな時はどうしたら良いの？→対応の具体例をいくつか載せる。
- ・不調のサインがあったら相談してね。「寝てない、独り言が増えた、好きなものに目を向けなくなった。」

〈家族への対応〉

- ・家族の気持ちや願いは？
- ・まわりが元気なうちにできることをやろう。
- ・家族の安心感を高めてほしい→支援者、支援機関の生の声を載せる。
- ・家族で抱え込まずに相談に来ていただくために、ご家族の生の言葉を載せる（ある程度、回復された当事者かご家族）。

〈就労〉

- ・働きたいが、どんな働き方があるか。
- ・職業リハビリ
- ・東ハローワーク
- ・経済的な支援。
- ・愛知県障害者職業センターの説明。
- ・障害者就業・生活支援センターアクト

〈ストレス解消法〉

- ・手遅れにならないように、どうするのがいいか？
- ・ストレス解消法→呼吸法、マインドフルネス、みんなの解消法をリサーチして紹介。

〈相談窓口〉

- ・1人で悩まない、相談するって大切。
- ・本人、家族、知り合い、それぞれが困った時に、どこに、誰に、相談したらいいのか分からない。
- ・支援機関、事業所の紹介（連絡先も載せる）。

〈その他〉

- ・年表
- ・紙媒体だけでなく、動画、SNS等でのPR→若者世代へ。

3 その他

○各部会の報告

- ・第1～2回を終えているところが多く、今年度をどう進めていくかを検討中。
- ・就労部会では、6/8に「障害がある（と思われる）お子さんの保護者向け学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会」を開催。午前は三好特別支援学校、日進市役所介護福祉課、日進市障害者相談支援センター、安城特別支援学校から説明があり、午後は各事業所ブースで個別相談会を行った。
- ・詳細が必要であれば、次回報告する。

以上

今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
		対象：当事者・家族

	③ 各部会の報告について
次回検討課題	① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	掲載内容やタイトルについて共有し、意見交換を行う
次回開催日時	令和5年7月25日（火） 午後1時30分
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第3回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年6月27日（火）13時30分～15時05分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	愛知淑徳大学の学生さん 3名
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美 (欠)	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	
⑧ 福田 有輝	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿	④ 大橋 志乃

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第 4 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 5 年 7 月 2 5 日 (火) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分		
会 場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 2 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 : 各部会の報告、8 月の部会日程について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、冊子の中身について、意見交換を行う。</li> </ul> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冊子を作ることにについて、トータスゆったりさんからいただいた意見を共有する。</li> <li>・冊子を作るにあたって、トータスゆったりさんにインタビュー等を行うことに許可をいただいた。</li> </ul> <p>○冊子を作る案について、内容、校正、期間について確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4、8 ページで作製する。</li> <li>・専門用語があると、知的障害者には分かりづらいため、専門用語を無くした方が良い。</li> <li>・冊子に載せる文字は部会で考え、文字の配置はじゃんぐるじむ</li> </ul>		

さんに依頼するため、12月中に内容を決めなければならない。  
3月末までに納品するとして、修正に2か月、印刷に1か月が必要である。

- ・文字は、じゃんぐるじむさんに、「これが1ページ目、これが2ページ目の分です。」と渡すイメージ。
  - ・まずは、じゃんぐるじむさんに打診する。
  - ・情報量が多くなりそうな項目は、文字を詰めないといけない。
  - ・タイトルは、表紙にインパクトがあって、簡素化して分かりやすいと良い。
- (参考：「日進市地域支援まとめ冊子」日進市第2層生活支援コーディネーター発行。)

○瀬戸保健所、久保本様からご意見をいただく。

- ・地域包括ケアシステムをかみ砕いた内容で掲載して、残りのページで載せられると良いが、カテゴリーの全部を盛り込むのは難しいと思う。何部発行して、どこに置いて、誰が目にするのか。
- ・市役所に来る方は、なんとなく分かっている状態で来ると思われるため、全く知らない人と窓口に来る人とは、ターゲットがズレるのではないかと思う。

○タイトルや中身について、グループワークを行い、共有する。

〈グループ①〉

〈タイトル〉

◆にっしんのメンタルヘルス

～心が不調になったときのサポートブック～

- ・「にっしんのメンタルヘルス」のみだと、市民は手に取るかもしれないが、既に不調の人は取らないかもしれない。
- ・「心が不調」に対して、マイナスイメージを持たれるかもしれない。

〈表紙のデザイン〉

タイトルの下に、吹き出しで、「地域包括ケアシステムって?」「寝れないな…」「人に会いたくない…」「やる気が起きない」「一人で悩まないで」「人の目が気になる…」等を入れ、落ち込むニッシーに対し、ニッシーの彼女や友達が「頼っていいんだよ」と支えているようなイラストを入れる。

〈中身〉

2、3ページ目の見開きで、本人（当事者の声）を中心に、周囲に

「相談・社会資源・家族・医療・理解・就労」を載せ、図で分かりやすくする。

4 ページ目に、障害の理解、偏見の解消、当事者の声。

5 ページ目に、受診、当事者の声。

6 ページ目に、社会資源、相談窓口、当事者の声。

7 ページ目に、家族への対応、当事者への対応。

・障害の理解と偏見の解消は、切り離せないからセットにする。

〈グループ②〉

〈タイトル〉

◆ココロが不調になったときのサポートブック

◆もしかして心が不調かも？！

～にっしん（「の」あるいはマーク）ココロの支援ガイドブック～

・タイトルに、何のための冊子かが分かるように、1、2行くらいで「にも包括って何？」を入れたい。強く主張してしまうと、せっかく柔らかくすることを意識しているため、バランスが悪くなってしまう。

〈表紙のデザイン〉

中心にイラストを入れ、「当てはまるかも」と手に取りやすくなるようにする。周囲に吹き出しで「ココロがしんどい」「気分が波がある」「何かうまくいかない」「寝れなくなった」等を入れる。

〈中身〉

2、3 ページ目の見開きで、偏見の解消、疾患の理解、心が不調になるってどういうこと？（不安に寄りそう柔らかい表現で）当事者や家族の声（「制度を使って良かった」「こういう声掛けで助かった」等）を載せる。

4、5 ページ目に、見開きで、にも包括の図。

6、7 ページ目に、社会資源。

8 ページ目に、相談窓口。

・リカバリーストーリーをコラム的に、各ページの隙間に入れられると良い。

・当事者の声（一言）や家族の声を各ページに散りばめる。

○グループ①、②のまとめ

・手に取りやすいタイトルや表紙にする必要があり、尚且つ、何のための冊子かが分かるように、表紙に、1、2行で「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）」を載せる必要

	<p>がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近いキーワードはまとめられると良い。</li> <li>・メールでどちらのタイトルが良いか、意見を求める。</li> </ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各部会の報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回報告する。</li> </ul> </li> <li>○8月の部会日程について <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/22（火）から以下に変更をする。 日時：8/29（火）13：30～ 場所：市民会館2階、会議室</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
今回確認事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 前回の振り返り</li> <li>② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</li> <li>③ 各部会の報告について</li> <li>④ 8月の部会日程について</li> </ul>
次回検討課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</li> </ul> <p>タイトルを決め、内容について意見交換を行う。</p>
次回開催日時	令和5年8月29日（火） 午後1時30分
次回会場	市民会館 2階会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第4回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年7月25日（火）13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	久保元 藍 (瀬戸保健所)
② 脇本 浩行 (欠)	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美 (欠)	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	
⑧ 福田 有輝	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ (欠)
③ 岩城 佳寿 (欠)	④ 大橋 志乃

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第 5 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 5 年 8 月 2 9 日 (火) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分		
会 場	市民会館 2 階会議室		
出席者	部会員 8 名	市職員 4 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 3 名 : 別添名簿のとおり ) ・ なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 : 各部会の報告について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、冊子の中身について、意見交換を行う。</li> </ul> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冊子のタイトルを決める。</li> <li>・冊子のタイトルとして、3つの候補が挙がっていたため、多数決をとり、以下に決まる。</li> </ul> <p>◆もしかして心が不調かも？！</p> <p>～にっしん(「の」あるいはマーク)ココロの支援ガイドブック～</p> <p>○中身について、前回出た案を参考にしながらグループワークを行い、共有する。</p>		

〈グループ①〉

- ・2、3 ページ目の見開きを4分割にし、病名は書かずに、よくある症状を載せ、レ点でセルフチェックができるようにする。
- ・真ん中には「誰でもなるよ、特別なことではないよ」というメッセージを載せる。
- ・チェックの数が多ければ、「心配だから相談してほしいな」という一言を載せることで、医療や相談機関に繋がりがやすくなるようにする。
- ・4、5 ページ目に、にも包括の説明（図）とともに、「みんなで支えていくんですよ」というメッセージを伝える。
- ・6、7 ページ目に、市内の事業所の紹介や活動内容、生の声のコラムを載せる。
- ・8 ページ目に、相談窓口を載せる。

〈グループ②〉

- ・1 ページ目の表紙は元気のないニッシーを起用し、フワフワとした吹き出しで「眠れないな」などの症状を載せ、下部に、にも包括の説明を載せる。
- ・2、3 ページ目に、にも包括の図を載せる。
- ・4、5 ページ目に、相談窓口や医療機関に繋がるためのページとして、よくある相談内容を載せ、社会資源や病院の紹介を行い、生の声を散りばめる。
- ・6、7 ページ目に、就労や住む場所、仲間がほしい時など、当事者の困りごとからサービスを紹介していく。サービスに対する利用者の声を、希望が溢れるように記載する。
- ・8 ページ目に市内のマップを載せ、元気になったニッシーと、ニッシーの家族みんなでニコニコしている絵を載せる。
- ・家族に手に取ってもらいたいので、手に取りやすいように、可愛くできると良い。

○グループ①、②の案を共有して出た意見。

- ・グループ②案の、片面に市内のマップを載せるには、小さくなって情報が限られるのではないか。
- ・マップは市役所や保健センターなど、主要なところに絞れば良いのではないか。
- ・社会資源はすぐに情報を引っ張ってこられるが、チェックリストの題材や、受ける相談を仕入れるのに時間がかかると思う。事業所が日々、情報を集めることはできないか。
- ・グループ①では、全体的にフワッとしており、ターゲットが幅広く、情報を全く知らない人達にも対応できる内容になっている。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ②では、ゴールがあるフローチャートになっており、ターゲットを家族に絞るのであれば、グループ②の方が使いやすいと思う。また、相談に来所された時にも説明するのに活用しやすいと思われる。</li> <li>・入院など、切羽詰まる前に、できることを伝えられる冊子が良いと思う。</li> <li>・ターゲットが、本人・家族であることから、グループ②の案で進めることにし、グループ①の案の良いところは統合して作成していけると良い。</li> <li>・次回は、グループ②の案を共有し、グループワークではなく、全体で話し合いを行い、中身・文言について話し合いを行う。</li> </ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各部会の報告</li> <li>・次回報告する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>						
今回確認事項	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">①</td> <td>前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td>各部会の報告について</td> </tr> </table>	①	前回の振り返り	②	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて	③	各部会の報告について
①	前回の振り返り						
②	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて						
③	各部会の報告について						
次回検討課題	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">①</td> <td>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内容について意見交換を行う。</td> </tr> </table>	①	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		内容について意見交換を行う。		
①	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて						
	内容について意見交換を行う。						
次回開催日時	令和5年9月26日（火） 午後1時30分						
次回会場	障害者福祉センター 大会議室						

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第5回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年8月29日（火）13時30分～15時00分	
会 場	市民会館2階会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	久保元 藍（瀬戸保健所）
② 脇本 浩行	菅 潤子（あいあいの家）
③ 興梠 精視	眞井 佳人（実習生）
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	
⑧ 福田 有輝	

（市職員）

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿	④ 大橋 志乃

（事務局）

① 市川 英子 （欠）	② 日岡 由季枝
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第 6 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 5 年 9 月 2 6 日 (火) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 2 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 : 各部会の報告について		
提出資料	別添のとおり		
	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、冊子の掲載内容や文章について、意見交換を行う。</li> </ul> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>○冊子の中身について、意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ②案を進める。</li> <li>チェックリストを載せると病名探しになり、主旨が異なるのではないか。症状については、表紙のニッシーで表現していく。</li> <li>中身については、できるだけ当事者の声を載せ、各パートに繋がるようにする。答えてもらいたい生の声を出すための質問項目を考えた方がいい。</li> <li>相談の入り口として考えると、専門的すぎる質問や深入りする質問はそぐわないため、流れや順番を意識して盛り込む。</li> <li>4 ページの「こんな時は」は相談支援に繋がる前を想定、6 ペー</li> </ul>		

ジの「こんな時は」は実際に支援に繋がった後を想定し、生の声を散りばめる。

- ・吹き出しの上の方に、括弧で「本人より」「家族より」と入れたら分かりやすいかもしれない。
- ・「こんな時は」のところに、よくある症状や家族がどうしたらいいんだろうと悩む事柄を載せ、それに対して答えていくように作れたらいいと思う。「こんな時は」は Q&A の Q ではなくて、「自分だけかな。みんなはどうしているのかな。」という不安に対し、「はじめはみんなこうなんだ。みんな思ってたんだ。自分だけじゃないんだ。」と安心するようにしたい。漠然とした不安や迷いが漠然と伝わる内容になるといい。
- ・その次に、「医療機関ではこういうことをしてくれます。街の相談はここにありますよ。」と説明とともに紹介し、生の声を載せると良いと思う。
- ・サービスと繋がった感想だけでなく、「家族が元気な内に自立しなきゃ。」のような思いでもいいと思う。ただし、あまり重たくならないようにしたい。

○4～7 ページの「こんな時は」を本人目線・家族目線で付箋に記入し、全体で共有する。

- ・症状に関する付箋が多いため、まとめて体験談のようにできると良い。また、陽性症状・陰性症状など、細分化できると良い。
- ・「眠れない」は精神ではない人にも当てはまるため、「相談してください」に繋がるようにまとめる必要がある。
- ・医療と相談窓口の矢印（→）は双方向の矢印（⇔）があると良い。
- ・矢印を書いてしまうと、視覚的に、矢印の近くにある言葉に誘導される可能性があるため、矢印は、にも包括の図を活用しながら「どこに行っても繋がってるよ。」を示せたら良い。「こんな時は」の後に、相談機関と医療機関が並列で載ってたらいいと思う。
- ・相談する立場を考えると、核となる機関が分かった方がいい。相談先が複数あると、「結局どこに相談？」と困ってしまう。それを意識した配置ができると良い。
- ・核となる機関があり、相談できる場所がワンストップになるのは良いことだが、基本的には、にも包括の図は本人が中心にあり、資源（相談）が回りにあるため、核となる機関から広がっていく図にはならないのではないかな。
- ・「にも包括って何？」は最初のページのどこかにコラムっぽく載せ、「全ては本人中心に密接に繋がっていて、それを組み立てる人の中に、相談支援事業所が入っている。」というような文章を

入れられると良い。

- ・にも包括の図は「こうなってます」という宣伝だと実際には繋がっていなかったり、弱いところがあるため、「理想を目指しています」とするのが良い。
- ・厚労省が掲げている「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとは」の説明文を載せてもいいと思う。
- ・紹介先について、名前だけ書かれていても、読み手はどんな所なのかが分からないため、ある程度文章で表現し、図で繋がっていることを表現する。(例：相談支援センターは医療や福祉と繋げて生活を組み立てるところです。医療は通院や受診だけでなく、訪問看護もやっています。市役所は受給者証の発行や手帳の申請ができます。等) 地域共生社会についても文章で書く。

#### ○分担について。

- ・市役所地域福祉課と介護福祉課は直接障害者の方と接することがないため、実際に相談員がどのようなサービスを紹介しているのか分からない。市役所が担当できる部分としては、医療機関のところと相談先のリストを作ること。相談先については介護福祉課に進めてもらう予定。載せる場所は相談支援、行政窓口、基幹相談支援センター、県の依存症の施設等を予定。
- ・症状については椎葉さんにまとめていただけると良い。
- ・6、7ページのサービス系の話は興梠さんにやっていただき、どういう事業所を周りに載せたらいいのかというイメージについて、相談支援センターから意見があれば良い。
- ・各ページについて、担当者がワード等で、箇条書きでも良いから文章作成を進めていく。
- ・にも包括の図と文章を実際に入れたイメージをじゃんぐるじむさんにお渡ししないと、製作にどれくらいかかるのかが分からない。市役所として、部会後に冊子のイメージを手書きし、じゃんぐるじむさんに打診する予定。
- ・みなさんの中で、イメージを考えてもらい、ヘルピーネットで共有できると良い。

#### ○医療機関に送る、依頼文とアンケートについて確認をする。

- ・アンケート7項目目の「発達の検査を行っていますか？」を「知能検査等の心理検査等は実施していますか？」に変更する。
- ・9項目目「デイケア等を併設していますか？」の「併設」を「運営」にするという意見が出る。
- ・ひきこもりも盛り込めたらいい。
- ・売りを聞くために、「上記以外に特色があれば」という項目があっても良い。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 項目目に「メール」を追加する。</li> <li>・ 大きい病院ならワーカーさんがいるが、各病院で窓口が異なると思うため、記載があると助かる。職種、お名前を最初に書いてもらう。</li> <li>・ 送り先：市内の精神科を掲げているクリニック他、瀬戸保健所管内の病床がある病院（しなのが丘、藤田医科、豊明栄、桶狭間、愛知医科、和合病院）。 名古屋や豊田に行かれる方もいるが、線引きが難しいため、一旦、管内に絞る。その中で、掲載許可を得たところのみを載せる。</li> <li>・ アンケートの返信を 10 月末にしているが、もう少し短くする。</li> </ul> <p>○ トータスゆったりさんへのインタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日、毎月第 3 か第 4（土）15：30～、部会の方で来られる方には参加していただきたい。開催日が決まったら周知する。 トータスゆったりさんがインタビューを受けたという感覚になるためにも、参加していただきたい。</li> <li>・ 興梠さん参加予定。</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>○ 各部会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回報告する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
今回確認事項	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>③ 各部会の報告について</p>
次回検討課題	<p>① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>内容について意見交換を行う。</p>
次回開催日時	令和 5 年 1 0 月 2 4 日（火） 午後 1 時 3 0 分
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第6回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年9月26日（火）13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	久保元 藍 (瀬戸保健所)
② 脇本 浩行 (欠)	
③ 興梶 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美 (欠)	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	
⑧ 福田 有輝	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿 (欠)	④ 大橋 志乃 (欠)

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第7回	ケアマネジメント部会	
日時	令和5年10月24日(火) 13時30分～15時00分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 6名	市職員 1名	事務局 3名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名:別添名簿のとおり) ・ なし		
報告・検討の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他:各部会の報告について		
提出資料	別添のとおり		
	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、冊子の掲載内容や文章について、意見交換を行う。</li> </ul> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>○10/28(土)16:00～トータスゆったりでのインタビュー内容について確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビュー時間として50分程度を予定。</li> <li>前回の部会で付箋での意見を出してもらった中に質問項目と思われる内容が上がっていた(病院につながりよかったこと/病院に行くのを決めるのに勇気が必要だと思うけど、背中を押してくれたのは誰?/病院に行って自分に診断がつくのが怖かった?/受診してよかったことは?/精神科のイメージは?/いつもと何か違うと感じたこと、きっかけ(症状)/周りに知られたいなかった?なせ?/家族や誰かに話そうと思ったきっかけは何</li> </ul>		

か/希望するサービスとつながった時はどう思った?)

- ・本人の声として、家族がしてくれてうれしかったこと、本人が家族に対して思っていること、家族に向けてのメッセージがあると良い。
- ・気になることを質問していき、その後、冊子に掲載できる内容をピックアップしていく方法もある。
- ・掲載については、多少アレンジしてもいいか。リアルすぎる内容もどうかとも思う。
- ・聞き方として、時系列順に質問をしていくと答えやすいか。発症から病院受診するきっかけ、精神科に掛かることは怖かったか等、聞きやすいかと思う。
- ・ピアのメンバーに冊子作りの意見を聞いて、10人読んで10人に分かる内容にできると良いとあった。
- ・質問として、逆に友人や近い人に言われた言葉で絶望したことについて聞いてもいいか。
- ・自分の診断名を言うか言わないか迷い、伝えたことで友人が離れてしまったという話があった。
- ・将来のことについて考えると、どうしてもマイナスな思考になってしまう。ポジティブに将来の夢を語れると良い。
- ・最後のページに元気になったニッシーを載せて夢を散りばめていくのも良いか。
- ・インタビューに参加希望の方があれば事務局まで連絡をお願いします。

#### ○冊子の構成について

- ・共生社会の冊子を作るにあたって、理想のまちになると良いという作りになっている。P2・3ページの構成を考えるとにも包括の説明にするのか、理想のまちづくりの説明にするか、見せ方について迷うところがある。
- ・情報量が多いこともあり、にしんの福祉と併用でも良いか。
- ・連絡先や住所を記載しているがかぶっている箇所があるので、一か所にまとめても良い。
- ・P6の仲間がほしい項目について、再開の目途が立っていないため、検討が必要。
- ・就労支援、住まいについては、相談すれば繋げてくれるところになるが、繋いでくれる事業所の情報を載せるのか、法人の情報を載せるかで内容が変わってくる。
- ・事業所の情報は、にしんの福祉に載っているが、事業所に直接連絡すると何を聞いていいのかわからないということや事業所に問い合わせてもサビ管が常駐しているわけでないため、得たい情報が得られないこともある。そのような状況であれば、

相談先を載せることが良いか。

- できる支援とできない支援があるため、例えば住まいであれば、このような支援をしていますという説明書きをするのが良い。
- 相談先を説明書きごとに載せるのか、最後にまとめて載せるか。
- このような悩みがあれば、カテゴリーごとに〇〇が相談に載っています、という書き方がわかりやすいか。その方が相談側も相談しやすいかと思う。
- 相談先をその都度、載せると竹の山の重複してしまうため、載せ方に工夫が必要。書き方として、相談者寄りで記載できると良い。
- 連絡先番号をふって掲載する方法がある。
- 精神の方は、フローチャートのような形での対応が難しい場合が多い。例えば、発症して受診しているが独自で動いて後からサービスに繋がることもある。
- 精神の方は、スタートが異なり決まった形で対応できないところがある。
- 「連携して対応しています」とした方が、現状としてしっくりする。
- 相談先に例えば仕事なら仕事ができる状態の方が来る訳でない。手帳を持っているから働きたいと言っても働けるどうか分からない。決まった形で支援者に繋げることができる訳でないため支援センターに相談して繋がるという形になると思う。
- 相談として、中心に支援センターがあってそこから繋がっていくものという話が以前に出ていた。本来はそれが良いかと思うが、日進では皆で解決していくというやり方を考えている。
- 相談先として、具体的な悩みに対して番号をふって、(例えば連絡先①②③)として、どこかに連絡してもらえれば繋がるようにしておくとしやすい。分からなくてもまずは連絡してもらわなければならない。表にして悩み事Q&Aとして連絡先として「①②③」がありますとすると分かりやすいか。
- 症状の部分に関しては、情報が分散はしないが、サービスについては、色々なニーズがある。仕事・住まいなどそれぞれの相談先を作ると見やすいか。
- 情報量が多い。事業所名の記載でなく、サービスを紹介してどのようなことを支援してもらえるのか、その説明書きをするとしやすいか。
- 最後のページは、認知症ケアパスのように相談先を掲載できると良い。

### 3 その他

#### ○各部会の報告

	<p><b>【就労部会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業バスツアーについて、コープあいちの協力で障害者の方を企業でどのように受け入れているのかという企画を企業向けに来年1/16 予定。</li> <li>・当事者・保護者向けは、2/14 予定。市内のコープあいち・みよし市にある配送センター見学予定。</li> </ul> <p><b>【権利擁護部会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お買い物サポートカードをスーパー・ドラッグストア・コンビニに周知し、配布物に対してのアンケートを予定する。</li> <li>・10/6 成年後見制度（支援者向け）勉強会実施。</li> <li>・12/24 虐待勉強会（支援者向け）を愛歩、あじさいの会、レジデンス日進、ポレポレの4法人協賛で予定。2月に一般向けで実施予定。</li> </ul> <p><b>【子ども部会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援コーディネーター研修会をスクールソーシャルワーカー・放課後等デイサービス事業所を対象に実施。</li> <li>・不登校、週末の過ごし方をどのようにするのが今年度のテーマ。愛知淑徳大学コミュニケーションコラボレーションセンターに参加してもらい、大学生と障害のある子どもと遊ぶイベントを企画。部会でどのように繋がっていくのかを検討中。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
今回確認事項	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>③ 各部会の報告について</p>
次回検討課題	<p>① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>内容について意見交換を行う。</p>
次回開催日時	令和5年11月28日（火） 午後1時30分
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第7回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年10月24日（火）13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	道下 恵（愛歩）
② 脇本 浩行 （欠）	
③ 興梶 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊 （欠）	
⑧ 福田 有輝	

（市職員）

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ （欠）
③ 岩城 佳寿 （欠）	④ 大橋 志乃 （欠）

（事務局）

① 市川 英子	② 日岡 由季枝 （欠）
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖 （欠）	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第 8 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 5 年 1 1 月 2 8 日 (火) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 3 0 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8 名	市職員 4 名	事務局 3 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 :		
提出資料	別添のとおり		
	じゃんぐるじむ岡田さんに各自ご挨拶※自己紹介 (名前のみ)  1 前回の振り返り ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、冊子の掲載内容について意見交換を行う。 ・各部会の報告  2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて ○デザイン、構成について岡田さんに確認する。 ・冊子ページの確認 ① P1 表紙 ニッシーイラスト ② P2-3 右開き見開き A3 「本人を中心とした地域包括ケアシステム」 ③ P4 こんなときは ④ P5 医療機関		

⑤ P6-7 A3 こんなときは

⑥ P8 裏表紙 相談手続き

① 表紙 ニッシー 吹き出しで情報も記載

② ③P4-5 「こんなときは」の事例があり、相談窓口・医療機関

ページ下部に本人の声の掲載（ゆったり工房で聞き取り）

④こんなときは居場所づくりやお金について詳細掲載/本人の声

⑤相談窓口について/カテゴリー分けができなかった声

・岡田さんより確認

1.ニッシーアレンジには問題ないか⇒なし

2.色のイメージはあるか⇒特になし

3.「こんなときは」の表記が2回あるが同列でよいのか

⇒同じ表記なので、変えてもよいのでは

1つ目こんなときは…症状

2つ目のこんなときは…具体的な相談先

その違いが分かりやすくなっていれば

～編としてわかりやすくなっていれば

（1つ目は不調のサイン・気づきとして）

① 表紙について

・市より、色については 10/10 が世界メンタルヘルスデーとなっていて、カラーはシルバーとなっていた。またメンタルヘルス関係は柔らかい緑が使用されることが多い。

ただしニッシーはアレンジ可だが、身体の色（緑）まで変えるのは難しい。ニッシーの緑色と被らない色とするとページバックの色が限られてしまう。

・差別解消法のパンフはピンクなので、そこから色は変えたい。色で冊子を覚えている人が多い。

・例えばシルバーから全体を白にして、吹き出しに色をつけるのはどうか。サポートブックも白だったような。

・カラーがあるのであれば、広報に使うべきでは。

ニッシーの色が変えられないのであれば、文字などどこかにいれては（シルバーリボンをつけるなど）。啓発用ならより使用したい。

・印刷物にシルバーは無理。グレーになってしまうがよいのか。

・市より、シルバーリボンの著作権については調べていくが、啓発なので問題ないのではないか。

③ P6-7 こんなときは（A3）

・文字数が多いので、もう少し省略しても。情報量が少なくてもわかるように。

・差別解消冊子は文字数が少ない。だがあまり少なすぎると情報

量が少なくなってしまう。

- ・文字数少ないだけでなく、高齢の方向けと考えると、文字サイズを大きく見やすくする。

全体デザインの意見

- ・このような冊子なので明るいイメージかつ温かくしたい。
- ・表紙はニッシーが元気のないイラストなのに、カラフルな吹き出しは？色味をおさえては。
- ・表紙と裏表紙の色が変わるのはどうか。
- ・デザイン参考

朝日新聞厚生文化事業団 URL より

「私の考える理想の地域風景」リーフレット

表紙・薄い水色ベース/裏表紙・ページ

⇒P6-7を同様のデザインにならないか

岡田さんにイメージを考えてもらう

(色味はメンタルヘルスのイメージに合う)

- ・ネガティブニッシーが表紙にあるのはどうか？
- ・中心に元気なニッシーがあり、端にモヤモヤがあるくらいでよいのでは？吹き出しなど。
- ・メンタルヘルスの冊子は手に取るのに躊躇しがちなので、柔らかいイメージの方が手に取りやすい。
- ・岡田さんにデザインをお願いする
- ・元気なニッシーにネガティブの発言は変？
- ・インパクトは元気のないニッシーの方があがる。最初の案ではそうだった。
- ・元気のないニッシーが元気になる/元気なニッシーが励ますは？とりあえず元気のないニッシーで作ってもらっては。

P6-7 A3 こんなときはのイメージについて (再)

- ・こんなときはと相談窓口を結びつける (セットにする) 方が岡田さんのデザインがしやすい。

どういったデザインが見やすいかに重点をおいてもらう。

- ・こんなときは⇒どれに対応しているか、わかりやすく岡田さんにお渡しする時に組み合わせる
- ・減らす情報は？日進の福祉をそのまま引用しているだけ内容が固いのか。情報が多いのか。意見集約。
- ・目的は適切なサービスに結びつけることなので、サービスや制度の細かい説明は不要。【】の内容だけわかればいいのかも
- ・就労支援・就労移行支援等ができます、という内容くらいは書いてもいいのかも。

相談にすれば相談員が案内します、と伝えれば。

- ・P3 にも各サービスがおおまかに記載されてる。
- ・P6 を変更するのであれば、P2-3 も変わってくる。

・ P2-3 に載っていない情報を P6 に載せるのか、あくまでも P2-3 はイメージでよいのか。

・ P3 福祉サービス ⇒今は施設名まで記載してしまっているので頭出しだけの内容にしてもよいのかも。

・ サービス・事業名まで記載しなくてもよい。

・ 詳しく説明しなくてはいけないのは、相談窓口

P6-7 を減らして P4 の内容を充実させていった方がよいのでは。

スタートは相談から始まる。

・ 福祉サービスがこれだけあることがわかって、どう使っていけばよいかわからないので、どの窓口に行けばよいのかを紹介できる流れにした方がよい。

・ 子育ての発達に関する相談を市役所に相談した後、センターにしてくる場合も多いので、このパンフレットで相談をできる動機づけにしていきたい（具体的にどの内容をどこにするのか）

・ P4 相談窓口のすみわけをもっとわかりやすく表記しては

・ たけのやまを一番最初の相談窓口にするのは。

「障害者相談支援センター」にすると抵抗感のある方もいるので「地域生活支援センターたけのやま」と柔らかい言い替えにする啓発のパンフレットとしては、抵抗なく手に取ってもらいたい。

・ たけのやまを一番に持ってきて、そこから枝分かれしていくのは「こういう時はここへ」自分がどこに相談すべきか分かりやすく。お金・手帳の相談等矢印で繋げる。

・ ぱっとみてわかるようにたけのやまに「迷ったらここへ」と吹き出しをつける。

・ 医療機関も窓口という見せ方もよいのかもしれない。

・ スペースが小さいので、たけのやまを横幅全部使って見せるようにして、下に瀬戸保健所等載せる。

P4 は入り口のチェックリスト的なもの、チャート式にして、  
(YES、NO) 見やすくすると、自分が迷ったときにどこへいけばよいのか分かりやすい。

今回出たイメージをヘルピーネットに掲載して、皆で意見を出して進めるしか方法がない。

P4 こんなときは⇒自助グループの意見なので、もう一度整理をしてみたい。

P6 こんなときは⇒福祉サービスどんなところがあるの？見出しにしてもよいかも。また同じようなニュアンスは削除してもよいのでは。

削れるところを考えるとヘルピーネットに掲載（ページ番号を記載の上）

高齢の親が見たときにみやすくする。

P6-7 声は貴重、はしょらずに掲載したい。  
 居宅介護の方がサービスにつながる等の声をゆくゆく載せたい。  
 できたらページ元の文章とこう変えたということがわかるようにヘルピーネットに掲載してほしい。  
 ヘルピーネットに登録のない事業所がまだある。  
 登録がない事業所は、たけのやまにメールで送られてきたものを展開してもらいたい。  
 ⇒その場合フィードバックが難しい。その都度メールで送るのは難しいので、進捗はずれてしまうのが課題。  
 紙面を作るのは、たけのやま・介護福祉課・地域福祉課になるので、意見を集約して反映してゆけばよいのでは。  
 確認をしたら既読がわかるように「いいね」をつけてほしい。  
 時間がないので、意見・文章の例を出してほしい。

意見の最終リミットは？  
 最終の情報を岡田さんに伝えないといけない。  
 2～3週間のうちに意見は集約したい（岡田さんが間に合わなければ早まるかも）  
 表紙は岡田さんにすすめてもらい、P2-7の内容を精査。  
 12/11に岡田さんに伝える⇒12/5までに意見を集約  
 年度内に作成完了⇒岡田さんに期限を確認。

次回 12/26 予定通り実施  
 福田さん・野村さんは欠席予定（重層会議）  
 3 その他  
 日進市より  
 精神障害に関する普及啓発講演会 2/6 の案内あり。  
 5月に瀬戸保健所と話し合いをし、普及啓発の希望  
 ⇒保健所として講演会を企画。  
 日進市が初回 民生委員会の研修を兼ねる  
 民生委員対象であるが、たけのやまの相談員も出席可。

以上

今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	③ その他
次回検討課題	① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて

	冊子内容の確認。
次回開催日時	令和5年12月26日（火） 午後1時30分
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第8回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年11月28日(火) 13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	岡田 美穂 (じゃんぐるじむ)
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	
⑧ 福田 有輝	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿 (欠)	④ 大橋 志乃

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝 (欠)
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖 (欠)	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第 9 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 5 年 1 2 月 2 6 日 (火) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 4 名	事務局 3 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 第 3 回自立支援協議会の報告		
提出資料	別添のとおり		
	<p>1 前回の振り返り じゃんぐるじむ岡田さんに参加いただき冊子デザイン・各ページ内容詳細を全体で検討。</p> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて ○冊子内容について ① 表紙について 表紙～裏表紙を繋げるのであれば、ニッシーイラストに統一感を持たせる (目の形・色) ※表紙は椎葉さんが書いたイラスト、裏表紙は公式のイラスト ②括弧・吹き出し等の体裁・デザインの詳細について 裏表紙 ニッシーの吹き出しに統一する。</p> <p>○冊子活用方法について 冊子完成…3 月末予定</p>		

- ・完成に併せてイベントの開催→4.5.6月号広報に掲載できるか？
- ・講演会を実施した時に、参加者に冊子を配布したい。
- ・作成して終わりではなく、世の中の人に広めていきたい。
- ・年度が替わるとケアマネ部会のメンバーも変わるので、3月中にやった方がよいのではないか。
- ・周知方法を今年度検討して来年度実施をする流れを組み立てる。
- ・外部講師に依頼してメンタルヘルスの講演会を実施しても良い。

#### ① 講演会内容

- ・医療機関一覧掲載の先生に依頼してはどうか。
- ・「にも包括」に先進的に取り組んでいる日進と同じ規模の市町村に話しを聞く。  
対象者…支援者に参加を呼び掛ける（精神だけでなく知的にも）
- ・自立支援協議会平澤会長にご意見を伺うのはどうか。  
来年度1～3月のケアマネ部会に来ていただき、周知方法・先進的に取り組んでいる市町村を紹介してもらうのはどうか。
- ・本会議3/12の自立支援協議会で冊子を配布したい。  
周知方法を自立支援協議会で聞いてみるのはどうか。
- ・シンポジウム形式もよいのではないか。
- ・講演会を実施する場合の予算は？  
社協の謝礼基準は安すぎるのではないか？  
去年は部会の予算ではなく、センターの予算で協賛という形で実施→講師料の規準は社協の規準に合わせることになる。
- ・講演会の時期について  
5月はどうか（3月完成になるため）。  
→興梠さんより平澤先生にLINEで都合を確認  
※途中経過は報告（ヘルピーネットで）

#### 3 第3回自立支援協議会の報告（12/14）

##### ①現在の障害福祉計画の評価

4つの意見についてそれぞれ評価

##### ②次の障害福祉計画について

計画の一本化を検討

障害福祉計画について意見の取り交わし

→年明け1/4から市民から意見を伺う予定

- ・委員より障害者・当事者も主体的に取り組める内容を入れられないかと意見あり ピアサポートもあるが、自分たちで主体的に集まる機会はないのか。
- ・地域生活支援拠点 名ばかりになっているのではないか。  
市としても1月以降議題に挙げていきたい。  
昨年度ケアマネ意見交換から取り組みができていない。

	<p>その他</p> <p>3/15(金)障害者差別解消講演会実施 ミライロ（株式会社…障害者手帳の電子化） 差別解消という言葉を使用しない→「ユニバーサルマナー」 障害理解をすすめる内容。市民会館にて開催。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	③ その他
次回検討課題	① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	②
次回開催日時	令和6年1月23日（火） 午後1時30分
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第9回	ケアマネジメント部会
日 時	令和5年12月26日(火) 13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	
② 脇本 浩行 (欠)	
③ 興梶 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美 (欠)	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	
⑧ 福田 有輝	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿	④ 大橋 志乃

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝 (欠)
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖 (欠)	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第10回	ケアマネジメント部会	
日時	令和6年1月23日(火) 13時30分 ~ 15時20分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員4名	市職員5名	事務局4名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (2名:別添名簿のとおり) ・ なし		
報告・検討の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 地域生活支援拠点の取り組みについて		
提出資料	別添のとおり		
	<p>1 前回の振り返り          明治学院大学平澤先生、瀬戸保健所久保本さんにご参加いただき、冊子デザイン・各ページ内容詳細を全体で検討。</p> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて          ○冊子内容について</p> <p>① 色味について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P.6~7 のピンクが強く、明るすぎて字が目に入らない。</li> <li>・ 表紙に暗い印象を受ける。印刷会社によって、シルバーの色味が明るく綺麗になると良い。</li> </ul> <p>※ベースカラーはデータで確認した方が良い。</p> <p>② ルビ、QR コードについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字を読めない方のためにルビがあった方が良いのではないか。</li> <li>・ 全体にルビをつけるとボリュームが出てしまうため、相談先、医療、サービスの説明に絞り、ルビをふっても良いかもしれな</li> </ul>		

い。

- ・文字数の調整が必要になるため、場合によっては当事者の声を削る必要もある。じゃんぐるじむさんに相談する。
- ・視覚障害の方でも分かるように、音声コードをつけると良い。
- ・予算の関係もあるため、初年度の部数を減らし、その分を音声コードにかけても良い。

### ③ 裏表紙、医療機関について

- ・裏表紙のニッシーの声が、誰の、誰に向けた言葉なのかが分からないため、分かるようにした方が良い。
- ・P.5 医療機関一覧において、「家族の代理受診」とあるが、家族のみの受診はできないため、「家族のみの相談」にした方が良い。
- ・経年で情報が変わるため、家族相談の欄を省き、枠外に、医療機関に直接問い合わせるよう注意書きをする方法もあるが、家族にとっては助かる情報になるため、省かずに載せたい。

### ④ P.2～3 について

- ・各機関が重なり合い、全体が繋がっているのが伝わるようにしたい。
- ・表紙を読んで手に取った方が開くと、いきなりサポートのページになり、いきなり重度の人が対象になっているように感じる。ページを入れ替えた方が良い。
- ・P.2～3 は目次の役割もあったが、ページが少ないため、目次はなくても良いかもしれない。最後の方に持ってくることで、安心を伝えられると良い。

◆多数決にて、P.2～3 を P.7 のあとに移動させる案にまとまる。

※部会長興柊さんに確認する。

※裏表紙にページ数をご案内しているため、変更が必要。

※気づいた点があれば、ヘルピーネットで共有する。

### ⑤ 今後について

- ・3/12（火）の自立支援協議会で配れると良い。2月の部会では確認程度にし、すぐに印刷にまわせると良い。

※意見があれば事務局へ連絡をする。

### ○講演会について

講演会…令和6年6月1日（土）10：00～12：00

日進市民会館、小ホールにて開催。

対象者…支援者。医療機関も参加されると良い。

〈流れ〉

にも包括の説明（20～30分）→2～3人の当事者の声と平澤先生から当事者の方への質問（30分）→どんな日進を創りたいかグループワーク・発表（60分）

- ・グループワークは横の繋がりができて良い機会になる。
  - ・当事者の声を聴く機会が得られるのは良い。
  - ・冊子の完成報告と周知をしたい。
- ※保健センターさんで当事者の声として話せる人はいないか確認していただく。
- ※流れについて、詰める必要あり。
- ※医療機関の方にも参加していただけるように、声をかける。

### 3 地域生活支援拠点の取り組みについて

#### ○目的

- ・地域生活支援拠点がある理由の一つに〈親亡き後に備えるため〉があり、いきなりグループホームの利用や一人暮らしは難しいため、体験宿泊や日中の過ごし方の体験ができるようになっていく。緊急時に対応できるよう、仕組みを地域の中で創っていく。

#### ○これまでの振り返り

- ・令和2～3年、緊急受け入れするにあたり、受け入れがしやすいようにアセスメントシートを作成。居室確保事業緊急受け入れに協力してくださる事業所さんがお互いに連絡がとれるようにLINEグループを作り、シミュレーション訓練を行った。
- ・事業所さんに働きかけるにあたり、地域生活支援拠点について上乘せや加算ができるようになっていくことを伝えている。
- ・説明会、連絡会をやる方向で動いていたが、コロナ以降できていない。

#### ○今後、ケアマネ部会で行う話し合いについて、平澤先生にご意見を伺う。

- ・短期入所で利用されている方がいるのかどうかを調査票等で調べ、判断材料にすると良い。
- ・ご両親が高齢で緊急時の支援が必要かもしれない方を事前登録し、ある程度把握しておくが良い。

#### ○部会員さんから、困った事例や課題があるのかを伺う。

- ・居室確保整備事業の参加に手を挙げられなかった理由として、グループホームと併設のショートのため、居住している方の生活を守らないといけない中で、ショートで知らない人を受け入れることが難しいという判断があったが、決して拒否をしているわけではなかった。実際に数は出ていないことから、やっていく中で課題を見つけていければと思い、居室確保整備事業に手を挙げさせてもらっている。
- ・市より、細かく調べないといけないが、地域生活支援拠点に参加するという届け出を出すと、通常のショートの利用であって

	<p>も加算がとれるようになっていた。ショートのままです、考え方賛同していただくのでいいのではないかと。</p> <p>○来年度の話し合いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みや日進市の課題は何かを含めて検討していただけたら良い。部会の中で、こういった形で取り組んでいただけたらいいかと相談しながら考えていく。</li> </ul> <p>○精神障害に関する普及啓発講演会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸保健所と地域福祉課、民生委員、ケアマネ部会が参加可能。資料の準備の関係から、参加人数を把握したい。当日は日進の取り組みとして冊子を見せる予定。(配布なし)</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>今回確認事項</p>	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>③ その他</p>
<p>次回検討課題</p>	<p>① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>② 地域生活支援拠点の取り組みについて</p>
<p>次回開催日時</p>	<p>令和6年2月27日(火) 午後1時30分</p>
<p>次回会場</p>	<p>障害者福祉センター 大会議室</p>

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第10回	ケアマネジメント部会
日 時	令和6年1月23日（火）13時30分～15時20分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	平澤 恵美（明治学院大学）
② 脇本 浩行（欠）	久保本 藍（瀬戸保健所）
③ 興梠 精視（欠）	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里（欠）	
⑦ 熊谷 豊（欠）	
⑧ 福田 有輝	

（市職員）

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿	④ 大橋 志乃
⑤ 野村 圭一	

（事務局）

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 西岡 きくの（欠）	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第 1 1 回	ケアマネジメント部会	
日時	令和 6 年 2 月 2 7 日 (火) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 3 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 2 名 : 別添名簿のとおり ) ・ なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 地域生活支援拠点の取り組みについて		
提出資料	別添のとおり		
	<p>1 前回の振り返り にも包括の冊子中身について、最終確認を全体で行い、共有する。 講演会の流れと地域生活支援拠点について検討する。</p> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて ○冊子内容について 〈イラストについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日進市には男女共同参画、日進市男女平等推進条例があるため、男性と思われる人には、寒色ではなく暖色を使用し、女性と思われる人には寒色を使うと良い。(例えば、男性が着ている服のブルーをオレンジにする。)</li> <li>・使用されているイラストについて、自由に色を変えられるのか。また、日進市の指針がじゃんぐるじむ岡田さんに伝わっているのかを確認する必要がある。</li> </ul>		

〈ルビについて〉

- ・市の障害福祉計画や基本計画では、漢字はひらがな、アルファベットはカタカナでルビをふっており、カタカナにはルビをふっていない。差別解消法の冊子でもカタカナにルビはない。
- ・2 ページの医療機関一覧下の注釈へのルビは、それほど重要な情報ではないため、ルビはなくて良い。

〈TEL、FAX、AM の表記について〉

- ・分かりやすい表記にすべき。にしんの福祉は電話はマークで FAX は FAX のため、にしんの福祉に合わせ、AM を「午前」にし、ルビをふる。

◆訂正箇所のみまとめ

〈表紙〉

- ・「npo 法人」に「えぬぴーおー」のルビをふる。

〈2 ページ〉

- ・AM を「午前」にして「ごぜん」のルビをふる。
- ・「要問合せ」のルビを「ようといあ〈わ〉せ」にする（3 か所あり）。
- ・桶狭間病院藤田こころケアセンターの住所とルビの隙間を狭くする。また、「B 型事業所」にルビ「びー」をふる。

〈3 ページ〉

- ・ページ数を入れる。
- ・「仕事のサポート」の「A 型・B 型」に「えーがた、びーがた」のルビをふる。

〈4 ページ〉

- ・ページ数を入れる。

〈5 ページ〉

- ・「心の不調がある人～仕組み」に「こころ、ふちょう、ひと」のルビをふり、「しくみ」のルビ「み」をとる。
- ・「心の不調がある人～仕組み」の背景の四角を消す。
- ・イラストの男性と思われる人の服装の色を寒色から暖色に変える。
- ・「市役所」の「発行手続き」のルビ「き」をとる。

〈6 ページ〉

- ・「日進市」に「にしんし」のルビをふる。
- ・「にも包括」の注釈内の「実現」のルビを「じつげん」にする。

〈裏表紙〉

- ・「TEL」を電話マーク（黒電話）に変え、FAX は FAX のままの表記にする。
- ・「くらしサポート窓口」の番号⑤を③に変更する。

※その他、気づいた点があれば、2 月 29 日までは障害者相談支援センターに連絡をする。

○講演会について

令和6年6月1日（土）午前10時から12時

日進市民会館、小ホール

対象者：支援者、医療機関など

- ・小ホールでのグループワークは、隣のグループの声が聞こえ、やりづらいという意見があったが、話し合う機会になるため、グループワークは有効に思う。

〈関係機関への周知について〉

- ・事業所の管理者にしっかり伝えることが大切と思う。
- ・にも包括の絵にある関係者として、相談機関、医療、民生・児童委員会に声をかけると、実際のシステムに繋がって良い。複数回声をかけていく。
- ・ヘルピーネットで障害ネットを作っているため、冊子の完成報告とともに講演会の予告を簡単に載せると良い。

〈当事者さんを探す方法について〉

- Q. 瀬戸保健所さんが地域移行の方のピアサポートの養成講座を行っている関係で、ぴあで話せる人がいないか？（市役所さんからの問い）
- A. 愛知県で行っているものは、地域移行のための養成であり、講演会での斡旋を行っていない。精神保健福祉士協会にぴあがあるため、問い合わせてみるという方法はあるかもしれない。（瀬戸保健所さんの回答）

- ・3月中に、どこに頼むのかを決め、4月頭には依頼をしないといけない。
- ・地元の方をお願いをした方が良く思うため、ゆったり工房椎葉さんに情報共有をし、依頼をする。

〈一般市民への周知について〉

- ・市民の方に広くお伝えしていく際に、参加型のイベントにすることで、市民の方はとっつきやすいと思う。健康福祉フェスティバルなどで冊子を置き、簡単なアプリでメンタルヘルスチェックをしていただき、今どんな状態なのかをプリントアウトしたものと一緒に冊子をお渡しするのは面白いと思う。
- ・福祉フェスティバルは11月になり、遅くなってしまう。ワイワイフェスティバルは7月にあるが、エントリーが終わっている。  
→事業所にて、参加の可否を確認する。

	<p>3 地域生活支援拠点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に一度、LINE の訓練をしているが、それ以降行われていないため、年 1 回か半年に 1 回訓練ができれば良いと思う。</li> <li>・事前打ち合わせの際に、現状把握をするために事業所向けにアンケートをとる、困りごとを出していく、という話が出た。 →再度、櫻木さんに話していただく。</li> <li>・児童の事業所と成人の事業所も一緒に連携できると良い。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	③ その他
次回検討課題	① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	② 地域生活支援拠点の取り組みについて
次回開催日時	令和 6 年 3 月 2 6 日 (火) 午後 1 時 3 0 分
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第11回	ケアマネジメント部会
日 時	令和6年2月27日（火）13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	久保本 藍（瀬戸保健所）
② 脇本 浩行	羽場 寛昌（実習生）
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢（欠）	
⑤ 改田 真美（欠）	
⑥ 神谷 真里（欠）	
⑦ 熊谷 豊	
⑧ 福田 有輝	

（市職員）

① 櫻木 順子（欠）	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿（欠）	④ 大橋 志乃
⑤ 長原 詠子	

（事務局）

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己（欠）
⑤ 森田 敏湖	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第12回	ケアマネジメント部会	
日時	令和6年3月26日(火) 13時30分 ~ 15時00分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 5名	市職員 3名	事務局 4名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 第4回自立支援協議会報告について		
提出資料	別添のとおり		
	<p>1 前回の振り返り</p> <p>○にも包括の冊子について最終確認 イラスト・ルビ・その他訂正箇所について共有</p> <p>○講演会について 関係機関への周知について 参加当事者の方→ゆったり工房椎葉さんに依頼</p> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <p>○冊子最終確認について 最終稿が出れば印刷発注予定</p> <p>○講演会について 6/1(土)日進市民会館 小ホール 10:00~12:00 平澤先生・当事者の方には確認済み。 内容は未定のため、タイトル・内容等を本日この場で話し合いたい。</p>		

【当日のスケジュール(予定)】

- ①平澤先生講演 (20分)
- ②先生と当事者の方とのシンポジウム形式 (30分)
- ③グループワーク (60分)

→にも包括について今後どうなってほしいか、どんな日進市にしていきたいかを話す

対象者：福祉サービス事業所

※違う分野の人とグループワークで話を聞きたい

・当事者の方について

ゆったり工房メンバーから4名

精神保健福祉士協会登録者→2名、体験を話せる人→2名

居住が日進・東郷・豊明となっているが、自分の市町村について話しをしてもよいか→OK

テーマによって体験談を決められるとよい。

・タイトルについて

精神障害支援者向きのため、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」など（精神障害と名前を出してOK）。

せっかく冊子を作成したので、サブタイトルに「冊子を作りました」を入れても良いのではないかと。タイトルに「地域包括ケアシステム」「地域共生社会」を入れたい。

タイトルを平澤先生に提示できれば、そこから講演の内容を検討してもらえる。

<意見として挙げられたキーワード>

「にも包括」「地域共生社会」「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」「だれもが安心して暮らせる日進市を目指して」「にしんココロの支援ガイドブック完成記念講演会」…

※疑問形のタイトルは集まりにくい。メリットを前面に打ち出したタイトルの方が集客力はある。

→仮タイトル

にしんココロの支援ガイドブック完成記念講演会

～みんなで作る地域共生社会～

タイトルを3つ入れることは厳しいので、内容に「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」を入れたい

仮タイトルを平澤先生にも確認をする。

・内容について

平澤先生には、にも包括について話をいただくが、先生の話の聞くと精神障害の方を地域で支える事とわかる内容。

冊子の紹介は最後ではなく、先生の話の後のシンポジウムで当事者の方に見ていただき、意見を聞くと支援者のイメージが具体的にできるのではないかと。

こちらでも平澤先生に確認をする。

	<p>・グループワークについて  どこの分野にも精神障害者の対応課題で悩んでいる人はいる。  グループワークでその悩みを互いに話すことができればよい。  グループワークは平澤先生からの提案のため、先生のイメージをお聞きしてはどうか。グループワークのテーマなど、色々な方法があるので、先生に相談をして決める。</p> <p>3 その他  ○第4回自立支援協議会報告について  3/12(火)自立支援協議会本会議開催  3つのプラン→障害者みらいプランに統一をされる  にも包括冊子についても会内で報告</p> <p>○各部会員から1年間の総括  ・冊子を作ったことで満足をし、終わらせないようにしたい  ・部会に参加することで、横の繋がりを大切にできた。今後この繋がりを継続していきたい。  ・若い世代にも、シフトして引き継いでいきたい  ・コロナ前後でケアマネ部会として行っていることも変化しているが、今回冊子として形に残せてよかった  ・「にも包括」について市民にどう普及していくかが今後の課題  ・ヘルピーネットの引継ぎを忘れないで行ってください  (見たらリアクションも忘れず)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>今回確認事項</p>	<p>① 前回の振り返り</p> <hr/> <p>② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて</p> <hr/> <p>③ 第4回自立支援協議会報告について</p>
<p>次回検討課題</p>	<p>①</p> <hr/> <p>②</p>
<p>次回開催日時</p>	<p>令和6年4月23日(火) 午後1時30分</p>
<p>次回会場</p>	<p>障害者福祉センター 大会議室</p>

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第12回	ケアマネジメント部会
日 時	令和6年3月26日(火) 13時30分～15時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊 (欠)	
⑧ 福田 有輝 (欠)	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 島津 ありさ
③ 岩城 佳寿	④ 大橋 志乃 (欠)

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 西岡 きくの	④ 野々山 勝己
⑤ 森田 敏湖 (欠)	